

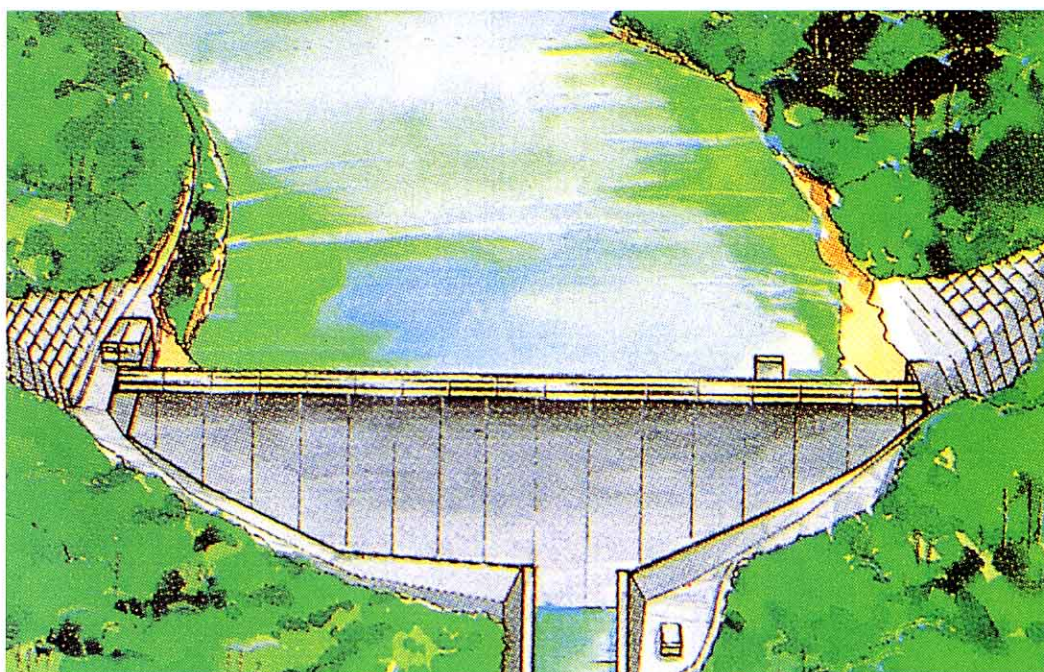
(2) 新しいダム

いままでの堰^{せき}やため池^{いけ}の用水では足りなくなったり、しせつが古くなったりしたので、いまの宮川^{みやかわ}ダムの上流^{じょうりゅう}に新宮川ダムがつくられています。

このダムができ上がると、会津高田町^{ほんごう}、会津本郷町^{にいつる}、新鶴村^{にいづる}、会津坂下町^{ばんげ}の4町村の4400ヘクタールの田畑がうるおうので、いまから完成^まが待たれています。昭和58年（1983年）にダムに沈む松坂地区^{しず}（58戸）の移転^{いてん}が終わり、道路のかけ替えも完了^{かんりょう}し、ダム本体の工事がすすめられています。

用水路は山^ぞ沿いの地下を通り宮川とり入れ口から会津坂下町の北のはずれまでつながっています。

ダムはコンクリートでできていて、高さ69メートル、長さは325メートルもあります。貯められる水の量は1030万立方メートルで、東京ドーム10杯分も貯めることができます。



▲新宮川ダムの完成予想図（平成16年 完成予定）